

『 新規C型肝炎抗ウイルス薬の副作用にご用心 』

肝臓川柳



『 副作用 新薬使用時 腎尿に』

(腎障害と尿酸値上昇・腎尿・じんによろ・しんちょう・慎重)

～かなり強引ですが(汗)～

C型肝炎の新しい抗ウイルス薬であるテラプレビルが去年12月より保険適応となり、『ペグインターフェロン+リバビリン+テラプレビル (3剤投与)』で多くの患者さんで使用され、強い抗ウイルス効果が得られていますが、一方、副作用が問題となっています。

◇発売以前より注意されていたもの

☆貧血 ☆皮膚障害

◆現在大変問題になっているもの

★尿酸値の上昇 ★クレアチニンの上昇⇒腎障害

【判明】

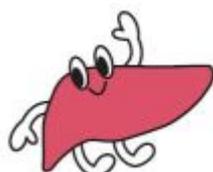
尿酸高値はきわめて高頻度に見られ高尿酸血症薬の投与を必要とし、腎機能障害も高頻度に見られ、一部の症例で重篤(腎不全)となることが新たに判明しました。

【当院での症例】

当院で使用した32例でも、全員が尿酸値が上昇し、大多数で高尿酸血症薬を投与しています。3例で腎機能障害増悪のため投与中止となっています。きわめて投与早期(1日目)から発生しますし、今のところ予測不能です。

【大切な事】

現在は、なり易い要因や原因の解明が急務です。新薬は、効果が高いものの時として思わぬ副作用がみられ注意が必要ですが、大事なものは、全貌を明らかにし、対策を立てる事だと思えます。



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

C型肝炎の新薬テラプレビルを使用した3剤併用療法は強い抗ウイルス効果を得ておりますが、副作用の注意が必要です。発売前から注意されていた貧血、皮膚障害に合わせて尿酸値の上昇、クレアチニンの上昇が高頻度に見られています。重篤化した症例もあるので投与の際は細心の注意が必要です。原因解明が急務となっております。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ッ俣和夫)